第6次高畠町総合計画
後期基本計画

令和7年度における指標の達成状況及び施策の評価について

高畠町

― 目 次 ―

1.将来像と基本目標の体系図について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2.後期基本計画における関連指標について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

3. 重要業績評価指標（KPI）の評価基準について・・・・・・・・・・・・・・・・・3

4.指標の達成状況

（1）基本目標ごとの指標数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

（2）各評価の全体に占める割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

（3）「めざす町の姿」ごとの進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

（4）「まちづくりの基本目標」ごとの進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

1. 将来像と基本目標の体系図について

令和元年度を初年度とする第6次高畠町総合計画（令和元年度～10年度）において、みんなでめざす町の将来像を「ゆきかう「またね∞」あふれる「うふふ∞」」と表現しました。

高畠町の未来において一人ひとりが『しあわせ』になることを実現するため、ライフステージごとに10項目の「めざす町の姿」を設定し、28項目の基本目標を掲げています。

めざす町の姿とまちづくりの基本目標は、令和6年度からの後期基本計画においても継続しています。

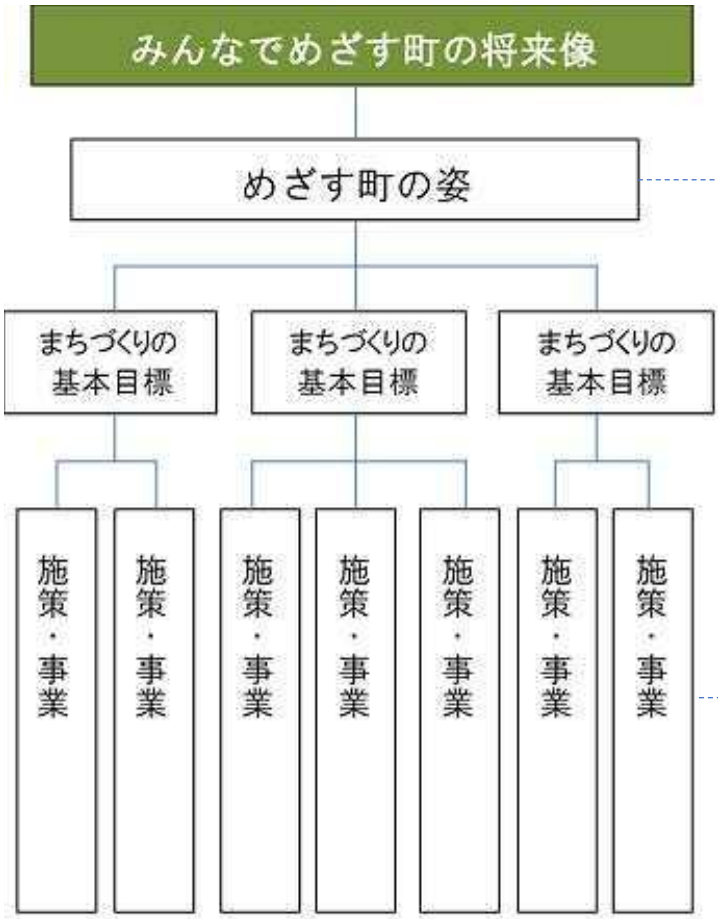
将来像	共通視点	ライフステージ		めざす町の姿	まちづくりの基本目標
ゆきかう「またね∞」あふれる「うふふ∞」	楽しむ（うふふ）×つながる（またね）×未来へつなぐ（∞無限大）	高畠町で暮らす人の「しあわせ」のために	「生まれてくる」ひとのために	高畠町で子どもを産み育てたい人が増えている	新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する
					安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える
			「育つ」ひとのために	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	子どもが健康にすくすく育つ環境を整える
					子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす
					課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える
			「学ぶ」ひとのために	学びの場が充実して、魅力ある“高畠人”が育っている	子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う
					学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる
					「ちがい」を認めることができる人を増やす
			「働く」ひとのために	技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	若者があこがれる「かっこいい」産業を増やす
					資源や人のつながりで、地域産業をもりあげる
				夢や希望が実現しライフスタイルに合った働き方ができている	一人ひとりの生活にあった多様な働き方の選択肢を増やす
					新しいビジネスを創出しやすい環境を整える
			「暮らす」ひとのために	安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている	自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす
					安心して快適に生活できる環境を整える
					みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる
				一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす
					地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる
			「年を重ねた」ひとのために	年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている	生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす
					住み慣れた地域で、安心して暮し続けられる環境を整える
			「次世代の」ひとのために	みんなで未来に向けたまちづくりを進めている	地域の自然や生態系を守る活動を広げる
					持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす
					歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす
					夢や志を持ち活躍する若者を増やす
					協働でまちづくりを進めるための環境を整える
		高畠町とつながる人に	「町外に暮らす」ひとのために	高畠町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	町内外に町の魅力を効果的に発信する
					高畠町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす
					交流力を高め、高畠町を応援する人や地域を増やす
					移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす

2. 後期基本計画における関連指標について

第6次総合計画は、28項目のまちづくりの基本目標を定め、それぞれに成果目標を設定しています。その目標達成のため施策を設定し、一つひとつに具体的な数値等で示した関連指標を設定しています。

前半5年間（前期基本計画）の最終年度である令和5年度に、前半期間における社会情勢の変化、基本目標や各施策の進捗状況を総合的に勘案し、施策や指標の大幅な見直しを行い、後期基本計画を策定しました。そのうえで後期基本計画は、新たに66項目の施策と116項目の重要業績評価指標（KPI）を設定しました。

指標は後期基本計画の最終年度である令和10年度の目標値に対し、達成状況を毎年確認して公表することとしており、今回は後期基本計画の2年目となる令和7年度の達成状況等について分析・評価したものです。



基本構想に示した
１０項目の
めざす町の姿

１０項目の「めざす町の姿」を実現するための２８項目の「まちづくりの基本目標」を示しています。

まちづくりの基本目標を達成するための方法や対策を示しています。施策ごとに、以下の内容を記載しています。

・現状と課題
・成果目標（ＫＧＩ※1）
・施策の体系
・施策を具現化する部門別計画等
・施策の概要
・評価指標（ＫＰＩ※2）

※1 KGI（Key Goal Indicator）
重要目標達成指標。最終目標を定量的に評価する指標

※2 KPI（Key Performance Indicator）
重要業績評価指標。KGIを達成するための各プロセスが適切に実施されているかを定量的に評価するための指標

3. 重要業績評価指標(KPI)の評価基準について

第6次高畠町総合計画後期基本計画における重要業績評価指標(KPI)の評価方法については、目標値の設定方法に合わせ、次の考え方により進捗度を算出し評価します。

① 毎年度、令和10(2028)年度の目標値と同じ数値を目標としている場合
(目標値ー現状値)に対する(実績値ー現状値)の割合で評価する。

② 目標値を計画期間における累計の数値とする場合
「(目標値ー前年値)÷最終年度までの年数」を前年値に加えた値を算出し、その数値に対する実績値の割合で評価する。

③「未実施」や「未設置」の現状値に対して、「実施」や「設置」を目標値としている場合
目標達成を「A」評価、未達成を「D」評価とする。

A:目標達成率 100%以上
B:目標達成率 60~99%
C:目標達成率 20~59%
D:目標達成率 0~19%
E:「増加する目標に対して、実績値が当初から減少した」あるいは「減少する目標に対して、実績値が当初から増加した」

後期基本計画評価基準では、A及びBランク(60%以上達成)は施策の進捗が順調であり、引き続き現状の取組みを維持していくべきもの、Cランク(20~59%)は進捗が緩やかであり、取組みを維持しつつ今後更なる注力を図るべきもの、D及びEランク(19%以下)は施策の進捗が停滞または後退しており、施策への取組みに課題があると考えられ、アプローチの改善を図る必要があるといえます。

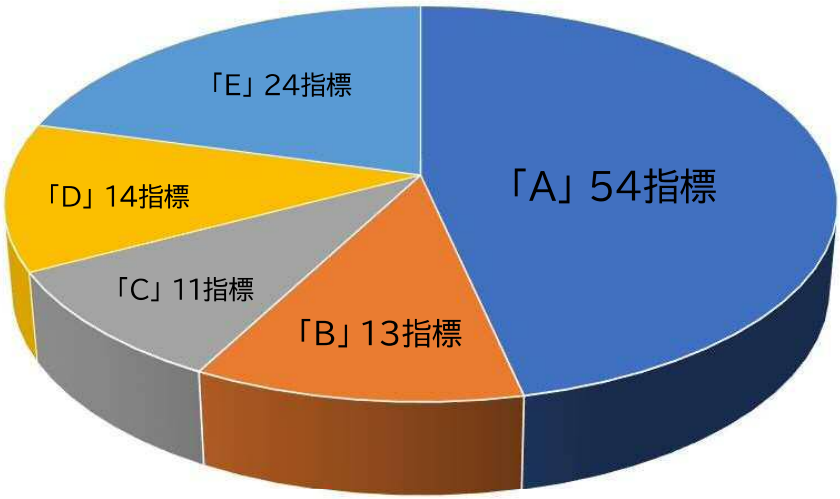
4. 指標の達成状況

(1)基本目標ごとの指標数

下表のとおり、まちづくりの基本目標ごと合計116の評価指標を設定し評価を実施します。

No.	めざす町の姿	まちづくりの基本目標	指標数
1	高畠町で子どもを産み 育てたい人が増えている	① 新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する	3
		② 安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える	3
2	みんなが楽しみながら 子どもを大切に育てている	③ 子どもが健康にすくすく育つ環境を整える	5
		④ 子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす	4
		⑤ 課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える	2
3	学びの場が充実して、 魅力ある“高畠人”が育っている	⑥ 子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う	5
		⑦ 学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる	6
		⑧「ちがい」を認めることができる人を増やす	2
4	技の継承と新たな取り組みで、 産業に活力が生まれている	⑨ 若者があこがれる「かっこいい」産業を増やす	7
		⑩ 資源や人のつながりで、地域産業をもりあげる	7
5	夢や希望が実現しライフスタイル に合った働き方ができている	⑪ 一人ひとりの生活にあった多様な働き方の選択肢を増やす	6
		⑫ 新しいビジネスを創出しやすい環境を整える	5
6	安心して生活できる環境があり、 心豊かに暮 らしている	⑬ 自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす	2
		⑭ 安心して快適に生活できる環境を整える	7
		⑮ みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる	4
7	一人ひとりが健やかで、 ゆるやかに支え合っている	⑯ 生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす	5
		⑰ 地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる	5
8	年を重ねても誰もが自分らしく いきいきと暮らしている	⑱ 生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす	3
		⑲ 住み慣れた地域で、安心して暮し続けられる環境を整える	10
9	みんなで未来に向けた まちづくりを進めている	⑳ 地域の自然や生態系を守る活動を広げる	4
		㉑ 持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす	4
		㉒ 歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす	2
		㉓ 夢や志を持ち活躍する若者を増やす	3
		㉔ 協働でまちづくりを進めるための環境を整える	2
10	高畠町の魅力が伝わり、 訪れる人、戻る人、 移り住む人が増えている	㉕ 町内外に町の魅力を効果的に発信する	2
		㉖ 高畠町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす	3
		㉗ 交流力を高め、高畠町を応援する人や地域を増やす	3
		㉘ 移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす	2

(2)各評価の全体に占める割合

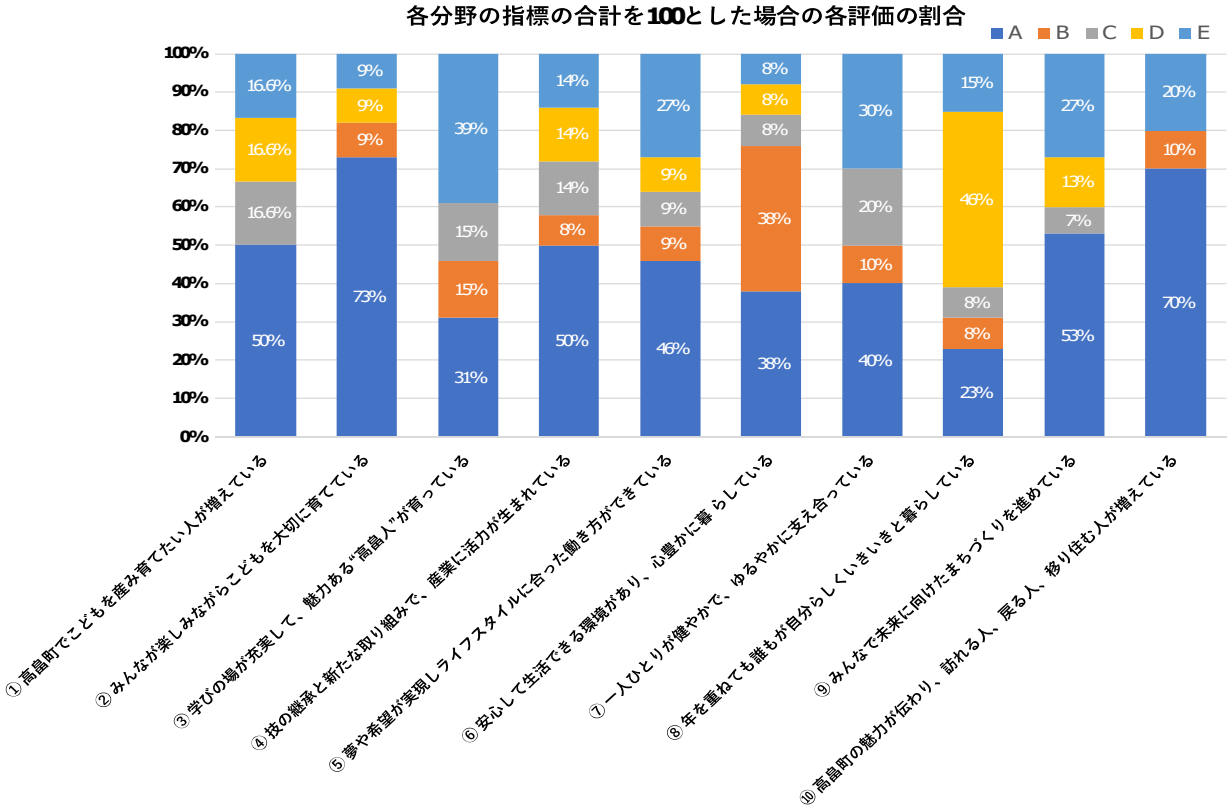


《各評価の比率》
A … 46.5%
B … 11.2%
C … 9.5%
D … 12.1%
E … 20.7%

施策の進捗が順調であると判断できるAランクとBランクの全体に占める割合が57.7%となっており、後期基本計画の2年目である令和7年度は、過半数の施策において進捗が進んだといえます。

一方で、進捗の停滞や後退を示すDランク及びEランクの合計は全体の約32.8%を占めており、そのうち、計画策定時の現状値(令和5年度値)よりも後退した指標はAランクに次ぐ24指標(20.7%)となっています。

(3)「めざす町の姿」ごとの進捗状況



【各分野の進捗と令和7年度の傾向】

「めざす町の姿」ごとの進捗に関しては、8分野においてA及びBランクの合計数が50%以上となっています。A評価が4割超と全体としては順調な一方、D・E評価が合わせて約33%となっており、3分の1の指標が課題を抱えている状況となっています。

1.指標の進捗が順調な分野

めざす町の姿2「みんなが楽しみながらこどもを大切に育てている」の分野は指標の大半がA評価で、施策の効果が明確に表れています。教育分野も学力・ICT・規範意識すべてA評価で、目標を大きく超過しています。

また、インバウンド・移住相談 など「外向き」の指標において進捗度が伸びている状況となっています。

2.昨年度の状況における4つの構造的課題

① 社会教育・生涯学習分野の縮退

社会教育・生涯学習分野の指標は、学校への地域人材(-100人)／生涯学習講座(-1,775人)／社会教育施設利用(-6,229人)／出前講座(-682人)／町を知り学ぶ講座(-9回) と、大半が減少しています。
これは個々の事業の努力不足から生じているものではなく、
・コロナ後の活動が完全には戻っていない
・担い手・受講者層の高齢化と人口減少
・公民館・社会教育施設の役割の変化
といった構造的要因が考えられます。

一方で、図書館利用者数は大幅に増加しており(+11,483人)、民話フェスタも目標を超過しています。「集まる場」より「個人の利用」にニーズが移行している可能性を示唆していると考えられます。

② 高齢者福祉における「担い手不足」の顕在化

指標	状況
要介護認定率	17.7% → 17.6%(目標17.0%)
集落を単位とするサロン数	79か所→ 69か所(-10か所)
買い物・通院・除雪支援を行う町民主体の団体	1団体(目標6団体)
在宅療養の普及啓発事業開催回数	0回(目標1回)
介護者研修会参加者数	37人→ 38人(目標60人)
見守りネットワーク協力機関数	66団体で横ばい(目標80団体)
チームオレンジの設置	0か所(目標1か所)

上記に対して、学集会68集落、支えあいマップ51自治会、除排雪34集落・町民主体の移動支援6団体はA評価となっております。

「行政が働きかけて仕組みをつくる」ものは進んでいるが、「住民が自発的に集まり続ける」ものが減っているという構図がうかがえます。サロン10か所減は、担い手の高齢化・後継者不在の直接的な現れとも考えら

れます。

③ ふるさと納税・創業支援の減少

ふるさと納税は返礼品数（1,014商品→756商品）と申込件数（22,228件→19,212件）が同時に減少しており、返礼品ラインナップの縮小が寄付件数減に直結している構造が読み取れます。申込延べ人数は目標40,000件に対し実績19,212件は達成率48%であり、抜本的な改善が必要です。

一方、企業版ふるさと納税は（3件→12件）で目標を超過しており、個人向けと法人向けで傾向が分かれています。

創業・起業支援も、コワーキング利用（32.9人→20人/月）、事業開催回数（31回→14回）・SNS発信（11件→6件）が揃って減少しています。ただし、新ビジネス創業支援事業者数14件（A）・起業・創業に係る相談指導件数31件（A・目標超過） と成果指標は良好で、「入口の啓発活動は縮小したが、実際の創業支援は機能している状態」と見て取れます。啓発の量的縮小が中長期の創業件数に影響しないか注視していく必要があります。

④ 成人の健康指標が後退もしくは停滞

指標	現状値 → R7実績	目標
特定健康診査受診率（国保）	58.7% → 54.0%	60%
運動習慣のある人の割合	25.8% → 24.5%	30%
喫煙者の割合	15.3% → 15.5%	12%
要介護認定率	17.7% → 17.6%	17.0%

子育て世代向けの支援策がたいへん好調である一方、成人・高齢者の生活習慣に関する指標は、多くが後退もしくは停滞しています。この中で、特定健診受診率の4.7ポイント減は、将来の医療費・介護給付にも直結する重要な指標となります。

R7時点で運動習慣・喫煙・健診受診が悪化している成人層は、10年後に前期～後期高齢者になります。生活習慣に課題を抱えたまま高齢期に入るため、例えば、「疾患による要介護状態への移行が増える」「認知症の発症リスクも高まる」、「結果として要介護認定率がさらに上昇する」等の負の循環、また、支える側と支えられる側の同時悪化についても懸念されます。

KPIによる進捗度は、背景に様々な要因や課題があったうえで最終的に表層化したものと言えます。指標の評価だけで判断できない取組みなども進んでいることから、結果のみをもって事業の成否を測ることには注意する必要があり、主な取組みの内容等も踏まえたうえで基本目標やめざす町の姿における達成度について分析する必要があります。

指標及びその進捗の背景にある要因、取組みの過程や関連の取組み等、評価の対象にならない事業効果を含めた全体にも意識を向けながら施策を前進させ、結果として進捗評価に反映されていくような取組みを進めていくものとします。

（4）「まちづくりの基本目標」ごとの進捗状況

まちづくりの基本目標	指標合計	A	B	C	D	E
① 新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する	3	2				1
② 安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える	3	1		1	1	
③ 子どもが健康にすくすく育つ環境を整える	5	3	1			1
④ 子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす	4	4				
⑤ 課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える	2	1			1	
⑥ 子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う	5	3		1		1
⑦ 学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる	6	1	1			4
⑧「ちがい」を認めることができる人を増やす	2		1	1		
⑨ 若者があこがれる「かっこいい」産業を増やす	7	2	1	1	2	1
⑩ 資源や人のつながりで、地域産業をもりあげる	7	5		1		1
⑪ 一人ひとりの生活にあった多様な働き方の選択肢を増やす	6	3		1	1	1
⑫ 新しいビジネスを創出しやすい環境を整える	5	2	1			2
⑬ 自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす	2	1	1			
⑭ 安心して快適に生活できる環境を整える	7	3	2	1	1	
⑮ みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる	4	1	2			1
⑯ 生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす	5			2		3
⑰ 地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる	5	4	1			
⑱ 生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす	3	1			1	1
⑲ 住み慣れた地域で、安心して暮し続けられる環境を整える	10	2	1	1	5	1
⑳ 地域の自然や生態系を守る活動を広げる	4	2				2
㉑ 持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす	4	2		1		1
㉒ 歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす	2	1			1	
㉓ 夢や志を持ち活躍する若者を増やす	3	1			1	1
㉔ 協働でまちづくりを進めるための環境を整える	2	2				
㉕ 町内外に町の魅力を効果的に発信する	2	2				
㉖ 高畠町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす	3	2				1
㉗ 交流力を高め、高畠町を応援する人や地域を増やす	3	2				1
㉘ 移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす	2	1	1			
合　計	116	54	13	11	14	24

第６次高畠町総合計画 後期基本計画　評価指標(KPI)ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標(KPI)	目標値	現状値	R7末実績	目標値の種別	KPI所管課	R7評価
1)-①-1	家庭を築くことについて理解を深める機会をつくります	いのちの授業やふれあい体験を実施した学校数	4校	1校	2校	累計	健子課	A
1)-①-2	出会いの場や交流できる機会を増やす支援をします	結婚推進関連事業への参加者数（年間）	100人	76人	23人	年間	企画課	E
1)-①-3	家庭を持ちたい人や子育て世帯の生活を応援します	高畠町移住定住促進事業による支援件数(累計)	170件	140件	181件	累計	建設課	A
1)-②-1	こどもを産み育てたい人を応援します	妊娠中仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合	95.0%	92.0%	93.7%	年間	健子課	C
1)-②-1	こどもを産み育てたい人を応援します	ゆったりとした気分でこどもと過ごせる時間がある母親の割合	90.0%	75.2%	78.1%	年間	健子課	D
1)-②-2	妊娠から子育てまで、切れ目のない支援を行います	産後、退院してからの１か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができたと回答した者の割合	95.0%	94.1%	96.4%	年間	健子課	A
2)-③-1	地域全体で子どもがのびのびと育つ環境をつくります	子育て支援センター利用者数（累計）	65,000人	12,994人	49,105人	累計	健子課	A
2)-③-1	地域全体で子どもがのびのびと育つ環境をつくります	子育てボランティア登録数（累計）	75人	15人	62人	累計	健子課	A
2)-③-1	地域全体で子どもがのびのびと育つ環境をつくります	学びと交流の推進事業（サード）参加者数	400人	401人	501人	年間	健子課	A
2)-③-2	こどもの健康を守る取り組みを行います	3歳児でむし歯のない幼児の割合	95%	91.5%	87.5%	年間	健子課	E
2)-③-3	こどもの発達過程や特性に応じた支援を行います	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	95.00%	50.20%	84.3%	年間	健子課	B
2)-④-1	ゆとりある子育てができるよう、仕事と子育ての両立を支援します	積極的に育児に参加している父親の割合	75.0%	70.5%	75.4%	年間	健子課	A
2)-④-1	ゆとりある子育てができるよう、仕事と子育ての両立を支援します	病児保育施設の登録者数	300人	43人	287人	累計	健子課	A
2)-④-2	子育て世代の経済的負担を軽減します	資格取得等の支援による就労人数（累計）	5人	4人	5人	累計	健子課	A
2)-④-2	子育て世代の経済的負担を軽減します	現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて苦しいと感じる保護者の割合	減少	R6年度より問診項目追加	19.7%	年間	健子課	A
2)-⑤-1	地域で安心して暮らせるよう保育・教育・医療体制を整えます	児童発達支援センターの設置	1か所	未設置	未設置	累計	福祉課	D
2)-⑤-2	親同士が悩みを共有できる機会をつくります	障がい児が気軽に参加できる地域の居場所の数	1か所以上	0か所	2か所	累計	福祉課	A
3)-⑥-1	人生を自ら切り開き豊かにする力を育みます	自己表現力や課題解決能力の向上を意識して学習活動全般に取り組むこどもの割合	76.0%	75.3%	84.70%	年間	教総課	A
3)-⑥-1	人生を自ら切り開き豊かにする力を育みます	学習にコンピューター・ICTを活用しているこどもの割合	67.5%	62.5%	80.30%	年間	教総課	A
3)-⑥-2	全てのいのちを大切にし、他者を思いやり尊重する心を育てます	規範意識の高いこどもの割合	88.5%	87.5%	94.60%	年間	教総課	A
3)-⑥-3	郷土愛にあふれた”高畠人”を育てます	地域・社会をよくしたいという考えを持ち、自ら地域行事に取り組むこどもの割合	76.1%	74.3%	75.00%	年間	教総課	C
3)-⑥-4	安心して学べる教育環境を整えます	学校への地域人材の参加人数（年間）	1,000人以上	994人	894人	年間	社教課	E
3)-⑦-1	誰もが学べる環境をつくります	生涯学習講座への参加人数（年間）	維持	15,000人	13,225人	年間	社教課	E
3)-⑦-1	誰もが学べる環境をつくります	図書館の利用者数	48,000人	43,471人	54,954人	年間	社教課	E
3)-⑦-1	誰もが学べる環境をつくります	図書館の貸出件数	96,000人	89,433人	86,740冊	年間	社教課	

第６次高畠町総合計画 後期基本計画　評価指標(KPI)ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R7末実績	目標値の種別	KPI所管課	R7評価
3)-⑦-1	誰もが学べる環境をつくります	社会教育施設の利用者数	50,000人	47,561人	41,332人	年間	社教課	E
3)-⑦-2	地域のつながりによる学びの場を広げます	地区公民館の独自講座の参加人数	1,000人	911人	970人	年間	社教課	B
3)-⑦-3	学んだことを生かし、人を育てるしくみをつくります	出前講座の利用者数	2,000人	1,807人	1,125人	年間	社教課	E
3)-⑦-3	学んだことを生かし、人を育てるしくみをつくります	民話フェスタの発表者数	55人	53人	56人	年間	社教課	A
3)-⑧-1	一人ひとりを大切にし、お互いを尊重する心を育てます	3歳6ヶ月児検診の問診において、父親が育児休暇を取得したと回答した数	15人	2人	8人	年間	健子課	C
3)-⑧-2	差別をなくし、様々な立場の人に寄り添った適切な支援を行います	町広報誌、ホームページ、SNSによる人権啓発の回数（年間）	25回	14回	24回	年間	企画課	B
4)-⑨-1	「もうかる」「かせぐ」産業づくりを支援します	個人申告農業収入1,000万円以上の経営体数（年間）	188人	171人	195人	年間	税務課	A
4)-⑨-1	「もうかる」「かせぐ」産業づくりを支援します	個人申告営業収入1,000万円以上の事業者数（年間）	198人	180人	177人	年間	税務課	E
4)-⑨-1	「もうかる」「かせぐ」産業づくりを支援します	法人町民税課税総額（年間）	143,514千円	130,467千円	133,052千円	年間	税務課	D
4)-⑨-2	「チャレンジ」を支援します	町の支援によるスマート農業導入事例数（累計）	3件	1件	1件	累計	農林課	D
4)-⑨-2	「チャレンジ」を支援します	新規就農者数（累計）	40人	30人	41人	累計	農林課	A
4)-⑨-2	「チャレンジ」を支援します	中小企業設備投資等補助金交付決定数（累計）	50件	8件（R5）	21件	累計	商観課	B
4)-⑨-2	「チャレンジ」を支援します	先端設備導入件数（累計）	60件	7件（R5）	15件	累計	商観課	C
4)-⑩-1	「ひと・もの・こと」の掘り起こしを支援します	人材育成事業参加者数（累計）	120人	26人（R5）	149人	累計	統合	A
4)-⑩-1	「ひと・もの・こと」の掘り起こしを支援します	ふるさと納税返礼品登録商品数（年間）	1,100商品	1,014商品	756商品	年間	商観課	E
4)-⑩-1	「ひと・もの・こと」の掘り起こしを支援します	中小企業設備投資等計画企業数（年間）	10事業所	12事業所	10事業所	年間	商観課	A
4)-⑩-2	「ひと・もの・こと」のつながりを支援します	地産地消取組事例数（累計）	100件	17件	62件	累計	農林課	A
4)-⑩-2	「ひと・もの・こと」のつながりを支援します	6次産業化支援事業数（累計）	3件	1件	3件	累計	農林課	A
4)-⑩-2	「ひと・もの・こと」のつながりを支援します	タウンプロモーションの実施回数（国内外）（年間）	10回	8回	10回	年間	商観課	A
4)-⑩-2	「ひと・もの・こと」のつながりを支援します	たかはたブランド商品取扱店舗数（年間）	250店	221店	232店	年間	商観課	C
5)-⑪-1	多様な働き方を支援します	シルバー人材センター会員1人あたり受注件数（年間）	5.8件／人	5.5件／人	5.6件／人	年間	商観課	C
5)-⑪-1	多様な働き方を支援します	やまがたスマイル企業認定数（町内）	10企業	3企業	8企業	累計	商観課	A
5)-⑪-1	多様な働き方を支援します	コワーキングスペース月当たりの利用者数	37.5人／月	32.9人／月	20人／月	年間	商観課	E
5)-⑪-2	やりがい・生きがいのある仕事との出会いを支援します	小中高大生の職業体験機会等の回数（年間）	3回	2回	2回	年間	商観課	D
5)-⑪-2	やりがい・生きがいのある仕事との出会いを支援します	就農前支援（研修）者数（累計）	8人	4人	8人	累計	農林課	A

第６次高畠町総合計画 後期基本計画　評価指標(KPI)ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標(KPI)	目標値	現状値	R7末実績	目標値の種別	KPI所管課	R7評価
5)-⑪-2	やりがい・生きがいのある仕事との出会いを支援します	キャリアセミナー開催回数(年間)	3回	2回	4回	年間	商観課	A
5)-⑫-1	創業・起業を「してみたい」環境を整えます	創業・起業関連事業(相談、セミナー、研修会等)の開催回数(年間)	45回	31回	14回	年間	商観課	E
5)-⑫-1	創業・起業を「してみたい」環境を整えます	公式SNS上における創業・起業関連の情報発信回数(年間)	20件	11件	6件	年間	商観課	E
5)-⑫-2	創業・起業を支援します	新ビジネス創業支援事業者数(累計)	25件	4件(R5)	14件	累計	商観課	A
5)-⑫-2	創業・起業を支援します	創業・起業セミナー受講者数(累計)	70人	12人(R5)	26人	累計	商観課	B
5)-⑫-2	創業・起業を支援します	創業・起業に係る相談指導件数(累計)	25件	3件(R5)	31件	累計	商観課	A
6)-⑬-1	自然の恵みを活かした暮らしを広げます	自然学習・自然体験イベントなどの実施回数(年間)	45回	47回	66回	年間	統合	A
6)-⑬-2	自然に親しみながら、ひと手間かけた暮らしを楽しむ人を応援します	補助金による木質バイオマスストーブの導入件数(町補助金創設時からの累計)	190件	138件	157件	累計	企画課	B
6)-⑭-1	安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	橋梁の老朽化対策実施数(累計)	45橋	18橋	26橋	累計	建設課	B
6)-⑭-1	安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	歩道整備総延長	46.861km	45.861km	46.914km	累計	建設課	A
6)-⑭-1	安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	水道管路の耐震化率	24%	22%	23%	累計	上下水課	B
6)-⑭-2	ずっと住み続けたくなる住環境づくりを推進します	高畠町定住支援に関する事業による支援件数(年間) ※移住定住促進事業、高畠町住宅リフォーム支援事業、木造住宅耐震改修事業の合計	70件	56件	61件	年間	建設課	C
6)-⑭-2	ずっと住み続けたくなる住環境づくりを推進します	空き家バンク成約件数(累計)	9件	4件(R5)	10件	累計	建設課	A
6)-⑭-3	冬期間の安全な生活環境づくりを行います	新たな除雪のしくみづくりに取り組む団体数(累計)	3団体	0件	0件	累計	福祉課	D
6)-⑭-3	冬期間の安全な生活環境づくりを行います	除排雪活動に継続して取り組む集落数(累計)	34集落	10集落	34集落	累計	福祉課	A
6)-⑮-1	地域ぐるみで災害に対応できる力を高めます	福祉防災マップ作製集落数	54集落	45集落	51集落	累計	総務課	A
6)-⑮-1	地域ぐるみで災害に対応できる力を高めます	防災の訓練・研修に取り組む自主防災組織数	105団体	50団体	103団体	累計	総務課	B
6)-⑮-2	地域での犯罪や事故を未然に防ぎます	運転免許証自主返納者数(令和元年度からの累計)	850人	321人(R5)	464人	累計	町民課	B
6)-⑮-2	地域での犯罪や事故を未然に防ぎます	交通事故(人身)の発生件数(年間)	38件	42件	47件	年間	町民課	E
7)-⑯-1	地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	特定健康診査受診率(国保)	60%	58.7%	54.00%	年間	健子課	E
7)-⑯-1	地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	1日30分以上、週2回以上運動習慣のある人の割合	30%	25.8%	24.50%	年間	健子課	E
7)-⑯-1	地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	喫煙者の割合	12%	15.3%	15.50%	年間	健子課	E
7)-⑯-2	こころの健康づくりを進めます	自殺死亡率(人口10万対)	12.7以下 (R5～R9平均)	18.2 (H30～R4平均)	15．9 (R2～R6平均)	年間	福祉課	C
7)-⑯-3	安心して利用できる医療サービスを提供します	かかりつけ医を持つ人の割合	85%	83.2%	84.20%	年間	健子課	C
7)-⑰-1	持続可能な地域の仕組みづくりを進めます	学集会を開催した集落数(累計)	72集落	54集落	68集落	累計	福祉課	A

第６次高畠町総合計画 後期基本計画　評価指標(KPI)ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標(KPI)	目標値	現状値	R7末実績	目標値の種別	KPI所管課	R7評価
7)-⑰-1	持続可能な地域の仕組みづくりを進めます	地域支えあいマップを作成した自治会数(累計)	54自治会	45自治会	51自治会	累計	福祉課	A
7)-⑰-2	自分のできることを活かしたボランティア活動を広げます	地域での支えあいのボランティアに取り組んでいる団体数	6団体	1団体	2団体	累計	福祉課	B
7)-⑰-3	誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくりを支援します	地域の茶の間の参加者数	延べ2,810人	延べ2,622人	延べ3,660人	年間	福祉課	A
7)-⑰-3	誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくりを支援します	学びと交流の推進事業(サード)参加者数(再掲)	400人	401人	501人	年間	健子課	A
8)-⑱-1	豊富な経験や技能を活用した生きがいづくりと社会参加を進めます	地域の茶の間の参加者数(再掲)	延べ2,810人	延べ2,622人	延べ3,660人	年間	福祉課	A
8)-⑱-2	人生を元気に過ごせるよう介護予防を強化します	要介護認定率	17.0%	17.7%	17.6%	年間	福祉課	D
8)-⑱-2	人生を元気に過ごせるよう介護予防を強化します	集落を単位とするサロン数	90か所	79か所	69か所	累計	福祉課	E
8)-⑲-1	高齢者の日常生活を支えるしくみをつくります	集落を単位とするサロン数(再掲)	90か所	79か所	69か所	累計	福祉課	E
8)-⑲-1	高齢者の日常生活を支えるしくみをつくります	買い物、通院、除雪支援を行う町民主体の団体	6団体	1団体	1団体	累計	福祉課	D
8)-⑲-1	高齢者の日常生活を支えるしくみをつくります	町民主体の移動支援	1団体	0団体	6団体	累計	福祉課	A
8)-⑲-2	医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくります	在宅療養(看取り)の普及啓発事業開催回数(年間)	1回	0回	0回	年間	福祉課	D
8)-⑲-2	医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくります	医療と介護の連携推進研修会の開催回数	5回	1回	5回	年間	福祉課	A
8)-⑲-2	医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくります	認知症サポーター数(累計)	3,200人	2,736人	2965人	累計	福祉課	B
8)-⑲-3	介護について理解を深めるとともに介護者の支援を行います	介護者研修会(交流会)参加者数(年間)	60人	37人	38人	年間	福祉課	E
8)-⑲-3	介護について理解を深めるとともに介護者の支援を行います	認知症カフェの利用者数(年間)	400人	12人 ※コロナ禍により開催1回のみ	224人	年間	福祉課	C
8)-⑲-3	介護について理解を深めるとともに介護者の支援を行います	見守りネットワーク協力機関数	80団体	66団体	66団体	累計	福祉課	D
8)-⑲-3	介護について理解を深めるとともに介護者の支援を行います	チームオレンジの設置	1か所	0か所	0か所	累計	福祉課	D
9)-⑳-1	自然を大切にするこころを育みます	食農教育の実践学校数	維持	7校	7校	累計	教総課	A
9)-⑳-1	自然を大切にするこころを育みます	自然体験教室・自然体験イベントなどの実施回数	維持	47回	66回	年間	統合	A
9)-⑳-2	豊かな自然を守り、次世代に継承します	有機・特別栽培水田面積	維持	649ha	612ha	累計	農林課	E
9)-⑳-2	豊かな自然を守り、次世代に継承します	耕作放棄地面積	維持	130ha	151.18ha	累計	農委	E
9)-㉑-1	環境にやさしいライフスタイルを定着させます	全ての世代を対象とした環境教育活動の実践回数	18回	16回	15回	年間	企画課	E
9)-㉑-2	効果的・効率的なエネルギー対策に取り組みます	公共施設の温室効果ガス排出量	3,245t-CO2	4,656t-CO2	3,882t-CO2	年間	企画課	C
9)-㉑-2	効果的・効率的なエネルギー対策に取り組みます	補助金による太陽光発電の導入容量(町補助金創設時からの累計)	890Kw	576.4Kw	857.77kW	累計	企画課	A
9)-㉑-3	循環型社会の形成を進めます	小型家電回収事業	2,600kg	1,544kg	3,510kg	年間	町民課	A

第６次高畠町総合計画 後期基本計画　評価指標(KPI)ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R7末実績	目標値の種別	KPI所管課	R7評価
9)-㉒-1	歴史や文化遺産を正しく理解し、大切に守ります	歴史文化学習会の開催数（年間）	維持	45回（毎週開催）	46回	年間	社教課	A
9)-㉒-2	文化遺産を活用し、潤いのある暮らしをつくります	文化遺産の活用事業数	4事業	2事業	2事業	年間	社教課	D
9)-㉓-1	若者がまちや地域を知るための機会を提供します	町を知り学ぶ講座の実施回数	150回	146回	137回	年間	社教課	E
9)-㉓-1	若者がまちや地域を知るための機会を提供します	中高生や若者によるまちづくり企画事業の数	10事業	7事業	12事業	年間	企画課	A
9)-㉓-2	夢や志を持つ若者を応援します	若者の夢や志を支援するプロジェクト事業の数	5事業	3事業	3事業	年間	社教課	D
9)-㉔-1	町民が参加・協働するまちづくりのしくみをつくります	ワークショップ方式を導入した事業及び人材育成事業の数	10事業	7事業	13事業	年間	企画課	A
9)-㉔-2	将来を見据えた行財政運営と職員育成を進めます	企業版ふるさと納税件数	6件	3件	12件	年間	企画課	A
10)-㉕-1	高畠町の魅力を発信します	町公式LINEの登録者数	5,000人	981人	2,961人	累計	企画課	A
10)-㉕-2	効果的なプロモーションを行います	タウンプロモーションの実施回数（国内外）	10回	8回	10回	年間	商観課	A
10)-㉖-1	観光者が楽しめる企画を充実させます	町主催の観光イベント参加者数	82,000人	64,397人	50,644人	年間	商観課	E
10)-㉖-1	観光者が楽しめる企画を充実させます	「高畠町観光客数調査地点」におけるインバウンド観光客数(1月～12月分集計)	12,000人	9,215人	16,154人	年間	商観課	A
10)-㉖-2	”高畠町”を体感(体験)できる機会をつくります	町独自の体験型イベント参加者数	1,520人	1,047人	2,322人	年間	商観課	A
10)-㉗-1	高畠町と関りを持つ団体・企業・教育機関・地域を増やします	県外の企業・自治体・大学等と協働で行っている事業の数	15事業	12事業	17事業	年間	商観課	A
10)-㉗-2	高畠町を応援してもらえる人を増やします	ふるさと納税の申込延べ人数	40,000件	22,228件	19,212件	年間	商観課	E
10)-㉗-2	高畠町を応援してもらえる人を増やします	企業版ふるさと納税件数(再掲)	6件	3件	12件	年間	企画課	A
10)-㉘-1	高畠町に住みたくなるきっかけをつくります	町内を会場とした移住相談対応者数	10件	3件	11件	年間	企画課	A
10)-㉘-2	高畠町に移り住む人を応援します	移住・定住に関係する助成利用者数	26名	11名	22名	年間	統合	B

めざす町の姿における令和７年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	令和7年度実施した取組みの具体的内容
1	高畠町で子どもを産み育てたい人が増えている	学校教育と連携した健康や妊娠・出産に関する正しい知識の普及	健子課	・乳幼児ふれあい体験授業を6回実施（高畠中学校） ・思春期講座を2回実施（高畠高校）
		乳幼児や子育て家庭と児童生徒とのふれあい体験事業	健子課	乳幼児ふれあい体験授業を6回実施（高畠中学校）
		結婚推進事業による婚活支援イベント（婚活パーティー、婚活学校（講習）等の開催支援	企画課	ピュアナブライズ　1件　亀岡地区公民館運営委員会　1件
		婚活サポート事業（結婚相談所入会費や相談所を通じて結婚した人への補助金）の実施	企画課	10名　補助金合計　220,000円（内1名　成婚100,000円）
		移住定住支援事業（若者世帯、子育て世帯の住宅購入に関する支援、町外から本町に転入する若者世帯に対する支援）	建設課	R7移住定住促進事業助成金全交付件数：22件（54名）、内45歳以下・子育て世帯【新築】＝転入8件、町内貸家4件、【中古】＝転入1件、町内貸家1件
		親子の遊び場など育児環境の整備・充実	健子課	屋内遊戯場において、親子で楽しみながら取り組めるイベントを実施（親子トレーニング、リトル＆キッズヨガ、ベビママヨガ、親子木工クラフト等）
		生殖補助医療費助成事業	健子課	補助件数　延5件
		伴走型相談支援の充実（産前産後のサポート事業、産後ケア事業、出産子育て応援給付金事業など）	健子課	・産前（来所相談：3人、電話等相談：119人） ・産後（母乳ミルク相談：40人、来所相談：16人、電話等相談：128人） ・ファミリークラス（12回19人） ・すまいるサロン（10回72組） ・産後ケア事業（延44件） ・妊婦のための支援給付交付金（1回目97人、2回目87人）
2	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	屋内遊戯場を活用した子育て支援	健子課	・育児講座（年10回111件）・お誕生会＆みんなのひろば（毎月146件） ・健康相談日（6回63件）・身体測定(6回119件） ・育児相談（174件）
		サード（学びと交流の場）	健子課	開催回数75回　参加児童人数23人　支援員活動延べ人数218人 サード通信発行2回 イベント開催3回（うち、団体との連携による開催２回） ※連携団体：まほろば隠れ家レストラン協会、高畠町屋内遊戯場
		乳幼児健康診査・健康相談事業等の充実	健子課	・乳幼児健康診査、歯科保健事業 （4か月児：12回85人、9か月児：8回84人、1歳6か月児：8回84人、2歳児歯科：9回35人、2歳6か月児：6回65人、3歳児歯科：8回43人、3歳6か月児：9回121人）
		こどもの発達過程や、こどもの行動に着目した育児に関する講座や情報発信	健子課	ペアレントサポート講座1クール（全2回）：9名参加 なかよしこども園、にじいろこども園にて保護者向け45分講座
		子育てに関する適切な情報提供、子育て支援センターの充実等、子育てサービスの向上	健子課	こども家庭センター開設
		ひとり親家庭への支援（医療給付制度、生活応援給付金、こども家庭福祉相談）	健子課	生活応給付金1件/子ども家庭支援コーディネーター相談対応実績：来所 189件、電話 81件、訪問 12件
		関係機関と連携した総合的・専門的な相談支援体制の整備	健子課	システムを利用し相談した件数1200件
		こどもの特性や親の困りごとへの専門的な情報提供、助言等	健子課	子育て相談15回延19人、ことばの相談7回延8人

めざす町の姿における令和７年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	令和7年度実施した取組みの具体的内容
3	学びの場が充実して、魅力ある“高畠人”が育っている	こどもたちに力をつける「探求型学習」の充実	教総課	各教科の授業や総合的な学習の時間を通して主体的で対話的な学びを充実させる。総合学習（プログラミング教育含む）について校内授業研究会のテーマに設定するなどして重点化した授業づくりを行う。単元全体を見通し、活用・探究を重視した授業改善を実施する。キャリア教育の充実を目指した「わくわくワーク（職業体験）」を実施する。
		いのちの教育の推進	教総課	道徳教育の充実と、「居場所づくり」と「絆づくり」を大切にした教育活動の推進。体験・キャリア学習を重視し、メタ認知や他者との関わりを通した非認知能力の育成。高畠中学校における「赤ちゃん先生」ふれあい体験学習の実施。耕す教育や花壇づくりによる植物のいのちを育む活動。
		地域行事や伝統行事への積極的な参加を通じた豊かな人間性の育成	教総課	町民憲章に親しむ活動。安久津八幡神社春秋例大祭への参加、高畠中生徒有志による青竹ちょうちん祭り民踊パレード参加など、各地区行事への参加。
		学校・家庭・地域や関係機関との連携による通学路点検や見守り活動の充実	教総課	通学路安全点検（年2回）、全小学校での立哨活動（平均２１２日）、各校PTA活動における立哨活動やあいさつ運動の実施
		感染症の流行や異常気象の発生に対応した危機管理体制の構築	教総課	熱中症対策や雷雨対策を含めた危機管理マニュアルの再確認と学校経営概要への掲載
		豊富な蔵書であらゆるニーズに対応できる図書館の運営	社教課	図書購入500万円。
		使いやすい社会教育施設、体育施設・文化施設の整備	社教課	施設の修繕、改修など。
		町民講座の充実	社教課	48回1125人。
		地域における青年層の交流・活躍の場の創出	社教課	【成人式】4/26開催。175人。参加率72%。【青少年ボラ】会員30名。定例会議5回。ボランティア依頼16件。【屋代地区若者参加事業】夏祭りの開催、大人の教育キャンプ実施。
		男女用同参画の推進	企画課	男女共同参画推進のための啓発事業として、６月の男女共同参画運動期間に文化ホールまほらで防災×福祉×男女共同参画連携セミナーを開催した。 １１月の女性に対する暴力をなくす運動期間に、生涯学習館でDV防止のためのパネル展を開催するとともに、文化ホールまほらにおいてパープル・ライトアップを実施した。 また、年間を通して町広報紙やHPにおいて国や県と連動した男女共同参画に係る周知・啓発を実施した。
		人権に関する知識の普及	町民課	町人権擁護委員による町内小学生を対象とした人権教室（年6回実施）を実施し人権思想の普及を図った。
4	技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	スマート農業への支援	農林課	山形県未来を育む農業担い手育成支援事業（県単）を活用し、農薬散布用ドローン１台導入
		中小企業等設備投資補助事業の活用	商観課	設備投資型7件に対し、総計12,367千円の補助を行い、原材料やエネルギー価格の高騰、人手不足等、厳しい経営環境下の中にあっても積極的に設備投資を行う多くの事業者に支援を行い、生産性の向上につなげることができた。
		事業者マッチング・地域間連携への支援	商観課	町地域課題解決型パイロットプロジェクト事業補助金、社会実験補助金を通じて、複数の町内企業による新商品開発や、事業者と学生の連携事業を支援した。

めざす町の姿における令和７年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	令和7年度実施した取組みの具体的内容
4	技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	デジタルポイントサービスへの支援	商観課	商店街が中心となり実施している高畠まるごとおうえんポイント制度（デジタルポイントサービス）について、行政サービスを利用した方にPR及び同ポイント制度に加入した場合にポイント付与を行い、さらに県の交付金を活用し、会員入会促進ポイントキャンペーンやスタンプラリーを実施したかはたまるごとおうえんポイントの利用拡大につなげた。 令和７年度付与実績：3,855,840ﾎﾟｲﾝﾄ キャンペーン期間中入会数：194名 スタンプラリー参加者数：1,257名
		次世代リーダー経営人材育成塾事業	企画課	リーダー人財育成塾開催事業（第4期） 事業実施期間：7月から翌年1月まで 受講生：６名（企業2、農家2、個人事業主1、寺院1） 伴走者：若手職員５名（健康子育て、社会教育、企画、商工観光課） 1月月に卒塾式を文化ホールまほらにて開催し、一般の方、町内企業、学校関係者、高校生など多様な参加者約90名が参加した。参加者からは、卒塾生へ対する応援コメントと町の将来に対する期待の声が多く寄せられた。
		たかはたブランド商品の認証	商観課	R8.3.31現在のブランド認証商品の商品数：30商品 認証更新商品数：8商品
		タウンプロモーション	商観課	JR仙台駅たかはたフェアの日程にあわせ、駅たびコンシェルジェにおいて、(有)高畠納豆による納豆セミナーを開催。JR浦和駅・栄区民まつり、JR錦糸町での催事において、町観光PRコーナーを設置し誘客活動を実施。
5	夢や希望が実現しライフスタイルに合った働き方ができている	高齢者や障がい者の就労支援の実施	商観課	シルバー人材センターに対する補助を行い、シニア世代の福祉の増進と能力・技能を活かした活動を支援。R7センター登録会員数294名、受注件数1,645件と、いずれも前年度から増加となった。また、置賜若者サポートステーションが実施する高畠出張相談会を通じて、障がい者等の就労支援を行った。
		小中高校生への職業体験事業（WAKU WAKU WORK）の実施	商観課	地域の仕事や働くことの魅力を知り、体験することで地元企業の認知度の向上を図るとともに、地元就職、定着に繋げることを目的に、職業体験事業（WAKU WAKU WORK）のを実施。 高畠中・・・・10月23日実施　対象：2年生　210名　参加企業：28社 高畠高校・・・10月8日実施　対象：1年生　45名　参加企業：10社
		創業・起業セミナーの開催	商観課	町創業支援事業計画に基づく創業セミナーを全5日間実施（高畠町商工会に委託）。R7は16名が受講し、うち5名は新規創業、来年度創業予定者は2名となった。また、経営・金融相談会を開催し、フォローアップを図った。
		高畠町産業振興センターの運営（再掲）	商観課	コワーキングスペースを活用したイベントの開催や町HPにより広報活動を行い、令和7年度は1件の新規入居があった。また、コワーキングスペースの予約を町公式ラインから行うことで、利便性の向上を図った。

めざす町の姿における令和７年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	令和7年度実施した取組みの具体的内容
6	安心して生活できる環境があり、心豊かに暮 らしている	地域における伝承の知恵や技術を伝える事業、講座の実施	社教課	【昔語り】全地区にて実施。（民話フェスタ）2/14開催。出演者56人。（伝統食・自然観察）
		自然学習・自然体験イベントなどの実施	社教課	【教育キャンプ】全地区にて実施。野外炊飯、テント張りなど。高22人、二10人、屋30人、亀14人、和36人、糠14人。【冬遊び】雪遊び体験など。屋100人、亀44人、和47人、糠140人。
		自然学習・自然体験イベントなどの実施	農林課	①計3回 ・R7.10.22 高畠小学校4年生 50名 ・R8.1.16 高畠中学校（部活動） 13名 ・R8.1.9 高畠高校（選択授業） 8名 ②計5回 ・高畠広域活動組織 R7.7.6 35人 ・二井宿地域資源保全会 R7.7.3 22人 ・屋代北部地区広域活動組織 R7.8.11 14人 ・馬頭環境保全会 R7.10.19 10人 ・南佐沢環境保全会 R7.10.4 4人 ③計4回 ・R7.5.30 植樹地整備 18名 ・R7.6.8 植樹体験 22名 ・R7.10.16 植樹地整備 11名 ・R7.11.22 苗木ポッド作成 19名 ④計5回 ・R8.1.20 高畠小学校3年生 46名 ・R8.1.22 高畠小学校4年生 50名 ・R7.7.19 和田小学校 19名 ・R7.7.3 糠野目小学校 17名 ・R8.3.31 もっくる 8名 ⑤計2回 ・R7.5.12 高畠小学校4年生 50名 ・R7.5.13 高畠小学校3年生 46名
		木質バイオマスストーブの導入支援	企画課	高畠町再生可能エネルギー設備導入事業費補助金及び高畠町フォーチュンタウン駅西分譲地再生可能エネルギー設備等導入促進事業費補助金の補助対象設備に、木質バイオマス燃焼機器を規定し、補助金を交付することで導入支援を行った。令和7年度補助実績は合計4件。
		高畠町定住促進事業	建設課	R7新規物件登録件数：4件、成約（売買）件数：1件
		高畠町住宅リフォーム支援事業	建設課	R7住宅リフォーム支援事業助成金全交付件数：39件、内子育て・新婚世帯13件、一般世帯27件
		行政と町民との協働による除雪等の体制づくり	福祉課	助け合い・支え合いの地域づくり会議を6地区で開催し、高畠地区と屋代地区では高齢者の課題である除雪支援について話し合った。高畠地区では新たに2団体が自治会での除雪の取組みを始めた。
		自主防災組織と連携した地域の防災力の向上（活動支援、防災訓練（避難訓練）の実施など）	総務課	防災セミナーを実施。各地区自主防連協、各自主防災会が研修等を実施。
		避難行動要支援者が安全に避難できるしくみづくり（個別避難計画の理解促進、研修会や訓練の実施）	福祉課	6/1 防災×福祉×男女共同参画連携セミナー 9～11月 個別訪問（32世帯） 9/28 総合防災訓練（屋代地区）
		特殊詐欺被害防止の学習会の実施	町民課	糠野目地区高齢者講座の「まつかわ講座」にて「落語で学ぶ悪質商法撃退法」の内容で特殊詐欺被害防止等の講演を実施した。（1回）

めざす町の姿における令和７年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	令和7年度実施した取組みの具体的内容
7	一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	食育の推進など食を通じた健康づくりの推進	健子課	(1)食生活改善推進員会員研修会（健康増進アンケートの結果、乳製品と乳和食、食中毒、手作りおやつ）・実施回数：4回・参加者数：94人 (2)食改の料理教室　・実施回数：5回　・参加者数：46人 (3)ヘルスサポーター養成事業（働き世代対象）　・実施期日：11月28日　・参加者数：20人 (4)食改養成講座　実施回数：6回　受講者数：3人 (5)食に関する出前講座　実施回数：6回　受講者数：95人 (6)広報誌への食に関する健康情報掲載
		運動習慣の定着に向けた健康づくりの推進	健子課	・地域で健康運動を普及している「健康運動サポーター」への研修会を9回実施 ・出前講座「日常生活に取り入れやすい身体活動のコツ+10」：計4回実施　延べ参加人数278人
		たばこ対策の推進	健子課	健診結果説明会で喫煙者に対して禁煙の働きかけを行い、適宜禁煙相談のパンフレットを配布した。 禁煙相談を1件実施。 受動喫煙防止週間に合わせて、広報で卒煙相談の周知と、げんき館で禁煙についてのポスターを掲示した。
		ゲートキーパー養成研修会	福祉課	自殺対策事業として「こころの健康づくり講演会」を開催。 3/13　　11名参加
		医師会や医療機関との連携強化と質の高い医療サービスの提供	健子課	・町内医療機関の医師等を対象にした保健医療懇談会を1回開催 ・南陽市東置賜郡医師会及び管内市町と連携して休日診療所の運営を行っている。（令和7年度休日診療所稼働日数69日。）
		住民同士による地域状況や生活課題の共有と解決に取り組む体制づくり	福祉課	助け合い・支え合いの地域づくり会議を6地区で開催 ・高畠地区：6/24、10/30 ・二井宿地区：6/23、10/2 ・屋代地区：6/24、10/24 ・亀岡地区：4/26、6/3、7/5、9/4 ・和田地区：10/3 ・糠野目地区：6/30、10/14
		研修会等の開催によるリーダー育成	福祉課	地域を支える人材を増やし、リーダーとなってもらうために助け合い・支え合いの地域づくり会議を6地区で開催 ・高畠地区：6/24、10/30 ・二井宿地区：6/23、10/2 ・屋代地区：6/24、10/24 ・亀岡地区：4/26、6/3、7/5、9/4 ・和田地区：10/3 ・糠野目地区：6/30、10/14
		幅広い年代に対するボランティア教育・講座への支援、体験学習の機会の提供	福祉課	ボランティアスクールの開催（手話ボランティア養成講座）
		こども食堂、認知症カフェなど当事者同士の仲間づくり、居場所づくりの支援	福祉課	昨年度に引き続き認知症カフェを開催いただき、困り事を相談できる体制整備やのぼり（旗）を設置することで、カフェ実施の有無を可視化できるよう工夫した

めざす町の姿における令和７年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	令和7年度実施した取組みの具体的内容
8	年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている	世代間交流による高齢者の社会参加の促進	福祉課	・屋代地区地域の茶の間「もりの里茶の間ひなたぼっこ」と放課後児童クラブクレヨンクラブの児童による七夕飾り(7/2)夏休み昼食会(8/5)の実施
		介護予防等自主的な取り組みを行う高齢者の通いの場を拡充する	福祉課	活動費の一部助成や、生活支援コーディネーターが定期的に訪問し、運営に関する相談支援と、未設置集落への働きかけを継続して行った。また、担い手を対象とした交流会を実施し、サロンに役立つ講座や研修会なども行いながら、情報交換・交流を図った。 ふれあいサロン活動への継続支援（のべ56回）、ふれあいサロン活動費助成（61自治会）、サロン交流会の実施（7/14）、 老人福祉相談員の訪問活動
		高齢者世帯の見守り活動の推進	福祉課	民生委員・児童委員の訪問活動（活動日数：6,453日※71名） ふれあいサロン活動への継続支援（のべ56回）、ふれあいサロン活動費助成（61自治会）、サロン交流会の実施（7/14）、 老人福祉相談員の訪問活動
		デマンド交通、町民主体の移動支援	福祉課	デマンド交通年間利用者延べ16,283人（うち65歳以上76%） 走行距離135,980km（前年比0.84） 住民主体の移動支援として5団体発足した。
		認知症初期集中支援	福祉課	認知症初期に関係機関が連携して集中した支援を行い、適切な医療やサービス繋げることを目的に取り組んだ。実人数1件（R6年度からの継続）、支援チーム訪問延べ人数3件、認知症初期集中支援チーム員会議4回、地域ケア個別会議（地域支援型）2回実施した。
		認知症カフェの開催	福祉課	町内2か所の認知症カフェにおいて、合計36回実施した。
		町虐待防止ネットワークによる情報共有、早期発見	福祉課	高齢者虐待防止連携協議会を実施。 R7.12.17　民生委員児童委員、老人福祉相談員、町内のサービス事業者等41名参加 高齢者虐待対応状況や虐待防止活動報告
9	みんなで未来に向けたまちづくりを進めている	小中学校の食農教育、自然体験教室、森林学習体験活動の開催	教総課	学校農園の実施、生産者との交流、地元産食材活用による給食。中学校農業生産部の活動。小学校低学年「生活科」を通して身の回りの自然に触れ、感じる発見する体験活動。小学5年生で飯豊少年自然の家を活用した宿泊自然体験学習の実施。学校林の間伐作業の実施。
		小中学校の食農教育、自然体験教室、森林学習体験活動の開催	農林課	①計3回 ・R7.10.22　高畠小学校4年生　50名　・R8.1.16　高畠中学校（部活動）　13名　・R8.1.9　高畠高校（選択授業）　8名 ②計5回 ・高畠広域活動組織　R7.7.6　35人・二井宿地域資源保全会　R7.7.3　22人 ・屋代北部地区広域活動組織　R7.8.11　14人 ・馬頭環境保全会　R7.10.19　10人　・南佐沢環境保全会　R7.10.4　4人 ③計4回 ・R7.5.30　植樹地整備　18名　・R7.6.8　植樹体験　22名 ・R7.10.16　植樹地整備　11名・R7.11.22　苗木ポッド作成　19名 ④計5回 ・R8.1.20　高畠小学校3年生　46名　・R8.1.22　高畠小学校4年生　50名　・R7.7.19　和田小学校　19名 ・R7.7.3　糠野目小学校　17名・R8.3.31　もっくる　8名 ⑤計2回 ・R7.5.12　高畠小学校4年生　50名　・R7.5.13　高畠小学校3年生　46名

めざす町の姿における令和７年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	令和7年度実施した取組みの具体的内容
9	みんなで未来に向けたまちづくりを進めている	有機農業を核とした環境保全型農業の推進	農林課	環境保全型農業直接支払交付金支払 R7（面積229.4ha、農業者70名）※前年より面積24.06ha減、農業者18名減 有機農業産地づくり推進事業（生産振興、消費促進）　事業実績額3,374,307円
		耕作放棄地対策事業	農委	① 農地法第30条に基づき耕作状況等を確認するため、8月末に農業委員・農地利用最適化推進委員等による農地パトロールを実施した。 ② 荒廃農地等利活用促進事業については、5経営体からの申請があり、138.7aの農地が解消された。
		環境講座、イベントの実施	企画課	環境にやさしい面白い活動を生み出す場として環境ワークショップ、「よれはたかはた」を年4回開催。11月3日には「エコフェスタ」を開催し、500人以上の方が来場した。 環境アドバイザー事業として、「エコドライブ教習会」を開催し、町内企業の新規採用職員など17人が受講した。
		省エネルギー設備・再生可能エネルギーの導入支援	企画課	高畠町再生可能エネルギー設備導入事業費補助金及び高畠町フォーチュンタウン駅西分譲地再生可能エネルギー設備等導入促進事業費補助金の補助対象設備に、太陽光発電設備を規定し、補助金を交付することで導入支援を行った。令和7年度補助実績は合計22件、導入容量は155.57kW。
		小型家電回収事業	町民課	7月12日と19日の2日間で各地区公民館前などを会場に小型家電回収事業を実施した。（3，510kg回収）
		町民講座、歴史体験学習講座の開催	社教課	考古資料館勾玉づくり教室、考古学に関する普及事業、郷土の歴史探求事業の実施
		観光地学習会の開催	社教課	亀岡文殊所蔵文化財を調査（3回）のうえ、公開（2回）を行う事業支援の実施。高畠石石切りにかかるミニ展示の実施、解説の作成。
		観光地学習会の開催	商観課	出前講座開催なし
		中高生や若者によるまちづくりの企画と連携した学習機会の提供	社教課	48回1125人。
		中高生や若者によるまちづくりの企画と連携した学習機会の提供	企画課	地域とつながる学び場創出事業（第2世代交付金事業） ①中高生連携の学び場を高畠高校敷地内にある「鐘城会館」に設置。名称を「探究基地　i-Base」とした。起業家教育、科学実験、からだづくり、食育体験など様々なプログラムを展開し、学生の興味関心を調査した。累計参加者数　60名。 1月からは、まちづくり番組制作をテーマに活動。企画書の作成、関係者へのインタビュー、動画編集などのスキルを習得する取組みとなっている。町内企業、商店街などとの連携も強化している。

めざす町の姿における令和７年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	令和7年度実施した取組みの具体的内容
9	みんなで未来に向けたまちづくりを進めている	異世代交流、情報交換機会の提供	社教課	高:11/2地区ウォーキングday127人、二:6/22ウォーキング大会78人、屋:10/12地区スポレク74人、亀:9/7スポーツ交流大会28人、和:9/7スポレク500人、糠:
		多様な年代を対象としたまちづくりワークショップの実施	社教課	二井宿地区わくわくプロジェクト、屋代地区若者地域育成事業、亀岡地区もんじゅの里縁結びプロジェクトなどの事業計画から実施についてワークショップの手法を用いた。
		行政組織力の向上と職員の人材育成	総務課	町独自の研修、外部機関による専門研修への派遣を積極的に実施
10	高畠町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	SNS(町公式FB、YouTubeチャンネル、マスコットキャラクター、LINEなど)を活用した観光情報の発信	商観課	町公式マスコットキャラクターに関する情報発信は、LINEにより実施。町のイベントについては、Instagramにて随時情報発信を行った。
		町外でのプロモーション事業の拡大	商観課	R7.7.31～8.3　JR浦和駅たかはたフェア、R7.9.27～28　JR錦糸町駅たかはたフェア、R7.10.16～19JR仙台駅たかはたフェア、R7.11.2栄区民まつりを開催しプロモーションを実施。
		観光コンテンツの選択、磨き上げ	商観課	げんきな高畠イベント実行委員会において、旧高畠駅を会場に「たかはた桜まつり」、瓜割石庭公園ほか各スポットを巡る「駅からサイクリング」、歴史公園を会場とした「TAKAHATA ILLUMINATION」など、町内の観光資源を活用した各イベントを実施し、町内への誘客を図ることで観光資源の磨きあげを行った。
		体を動かすスポーツ型イベントの拡充	商観課	R7.6.14駅からサイクリングを実施 163人の参加者
		体を動かすスポーツ型イベントの拡充	社教課	4/12モルック体験会、150人。10/13ニュースポーツ体験会、250人。
		首都圏の大学等のフィールドワーク等受入事業	企画課	東大フィールドスタディー 受入人数6名、現地活動3回、ｵﾝﾗｲﾝ探求授業支援　20回 高畠高校との連携し、高畠ゼミの探求学習の支援等の実施。 東大ホームカミングデーにて取組みを紹介。特産品の販売。 外大スタディーツアー 受入人数合計11名、現地活動　9月及び翌年2月の2回 高畠高校と連携し、高校生と合同でSNS情報発信の特別授業を実施。
		移住・定住者向けの総合相談窓口の設置	企画課	企画課において、移住希望者からの相談対応を実施した。必要に応じて建設課や農林課等の関係課へつなぎ、各種相談への対応を実施した。
		移住・定住に係る制度の充実と周知活動	企画課	これまで県と町で実施していた食の支援、住まいの支援、若者・子育て世帯移住支援が令和6年度より県の単独事業となった。移住相談者に対して、これらの制度周知を実施した。 国・県・町で実施する移住支援金について、東京圏からの世帯移住者3組(子ども加算あり)へ計420万円の支援を実施した。 町HPにおいて、各種支援制度の周知を実施した。